

2017年度 学校法人 三幸学園 横浜ビューティー&ブライダル専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 植野いずみ

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 大黒屋 諭

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、ビューティー分野の学校として「人を美しくすることで人を元気にし、日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、ビューティー分野として「お客様を美しくすることで感謝される、サロン・組織を活性化できる(皆をハッピーにする)人材を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

「ウェディングプランナー科」「ヘアメイク&ドレス科」が軌道にのり、インターンシップ制度を通して企業様との連携が取れている状況。ヘアメイク科も開校し新しい分野の開拓にも成功している。一部学科でテクニカルチームを発足し、具体的な指導方法も見直しがかかり、統一された指導方法を継続的に行っている。

② 学校関係者評価委員会コメント

インターンシップ導入の意義が大変大きいように感じる。成人式の撮影等では学生の方が顧客と年代が近い
ため、ヘアメイクやコーディネートもニーズを掴む可能性が高い。まだまだ多くのことをインターンシップや産学
連携で取り組むことができそう。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

① 課題

最新の業界のニーズを把握し、体得するべくカリキュラムを指導要綱にタイムリーに組み込み、それが実践的に出来るかどうかのセルフチェックや評価制度を用い、具体的な成長実感の醸成を検討

③ 今後の改善方策

- ・企業や団体との関連性を高めていく活動を通じ、業界動向を正確に把握し、情報の精度を高める。
- ・収集した情報を活かし、教育課程の編成に活用していく仕組みを構築する。

④ 特記事項

・学園ミッション「人を活かし、困難を希望にかえる」と学園ビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」を教職員、そして生徒たちにも公開し、将来ビジョンを目標化させ、職業実感を醸成している

⑤ 学校関係者評価委員会コメント

- ・就職している卒業生は「技能と心の調和」を体現しており、挨拶礼儀がしっかり身につけており、技術だけに偏っていない。
- ・資格の取得も大切だが、それに勝るものがお客様とのコミュニケーション能力。それがないとクレームとなりお客様の満足度に繋がらない。現在のお客様のヘアメイクの希望はナチュラル志向なだけに、技術よりも基本的な接客力を重要視している

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

- ・授業資料、コンテンツ、動画等の教務資料の共有と、有効な活用方法の確立
- ・システム化に伴う、具体的な授業内容の展開

② 今後の改善方策

- ・業務の効率化を行うとともに、効率化によって捻出された時間の教務への還元を行う

③ 特記事項

- ・運営方針の浸透と情報共有の為に、年3回以上の全職員による会議や、月1回程度の教科ごとの会議を開催し、リアルタイムな生徒情報の共有と指導の統一、業務改善に取り組んでいる

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・高校生や保護者が専門学校に期待するものは実習施設設備。高校には家庭科室等しかないため、職業をイメージできる実習室の充実は大きい。また高校でもタブレットを導入するなど ICT 教育は進んでいるので、専門学校や就職先でも ICT 環境は必須と思われる

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

- ・関連分野企業との連携授業の展開と関連付けられたカリキュラムや教育方法の工夫
- ・教職員研修の継続と発展

② 今後の改善方策

- ・インターンシップなどの産学連携行事と授業の相互性の更なる向上
- ・関連企業の開拓と連携の範囲拡大

③ 特記事項

- ・新学科ヘアメイク科の運営の開始
- ・プロジェクター常設、Wifi環境の整備

④ 学校関係者評価委員会コメント

・ただインターンシップを導入するだけでなく、レポートの提出や振返りまでを担当している。指示された作業をこなすのではなく、一生に一度の機会に関わるということや求められるクオリティがどの程度かを理解することが重要。また失敗から学ぶことも大切でそこから大きく成長することがある。ドレスはトレンド・センスをキャッチし、すべてに共通することでもあるが自分が持つセンスをお客様にアウトプットできるかどうかの問題である

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格（免許）取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

・退学率の低減については昨年に比べ改善されている。今後は卒業後勤務状況の把握と離職率の調査を行い、離職率軽減に努める必要がある

② 今後の改善方策

・就職先とのマッチングを調整できるよう、就職指導の幅を広くもち、企業様との連携を強め離職率低減を目指す

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・卒業生就業調査は大変興味深く、短期間のうちに退職してしまう要因分析などは自社でも参考となる。人間関係の悪化による退社とコミュニケーション能力不測は関係性があるのではないかと感じる。

・美容の専門学校卒業生全般にいえることだが、技術を学んできただけに入社した企業での新しいやり方を素直に受け入れられないケースがある。大学新卒や高校新卒も採用しているが、美容専門学生のデビューの方が遅い場合がある。他の人より出来るだろうと素直に受け入れられず、頑固さ、柔軟性が足りない部分があるように感じる。

(5)学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	4
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

① 課題

- ・保護者との連携は変わらず続けていきたい。課外活動に対する支援は整備をし生徒が主体的に行動できるようなしくみを構築していきたい
- ・中途求人の紹介の強化

② 今後の改善方策

- ・卒業生への支援体制について、卒業生へのフォローを目的としたホームページ「SankoLink」の認知度を上げていく。同窓会や卒業生との連携を強めていく

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・他地域で美容師国家試験に不合格となった学生を、横浜校で合格までフォローしていることは大変ありがたい。美容室で営業時間外までフォローすることはなかなか難しいため、三幸学園のスケールメリットを生かしたすばらしい支援体制である

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	3

① 課題

- ・校舎及び設備については、年2回の避難訓練を実施、安心・安全な教育環境の維持向上に努めている。
- ・実習先企業様は生徒へ希望をとって、ご依頼をおこなっており、ほぼ希望通りの実習先にお世話になることができている

② 今後の改善方策

- ・よりたくさんの企業様のご協力とご理解をいただき、インターンシップの実施範囲を広げていく

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・インターンシップの意義は大きく成長を感じることができる。良い人材の発掘にもなり現場としても有益

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

教務と広報の連携を常に意識し、高校生、社会人、留学生等にとって、現在のニーズに合わせた教育カリキュラムを展開し、希望のある健全な募集活動を行っていく

② 今後の改善方策

保護者説明会、オープンキャンパスの開催を通じ、学費や入学に関する不安をできるだけ取り除き進学にあたる有益な情報を提供していきたい

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・美容学校に通えず、高校を卒業してすぐに就職する学生を受付スタッフとして採用している。採用後は企業が費用を貸与し、美容師免許通信課程に入学させている。2020年から住民税非課税世帯への専門学校授業料減免が行われるという話があるならば、更に困窮世帯も入学しやすくなって業界にとってもうれしいことである

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

昨年度に第2次中期計画を策定している。今後は当該計画の公開に向けて着手していく予定である。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

なし

【委員コメント】

・特になし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

今後も継続した法令遵守推進を進めていく。

② 今後の改善方策

- ・会議や掲示物等を通じて、すべての職員の法令遵守に対する啓蒙を図る。
- ・個人情報保護法など、毎年継続し繰り返し法令の正しい知識を教職員に伝えていく。

③ 特記事項

⑤ 学校関係者評価委員会コメント

適切に行われている

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

① 課題

産学連携を推奨し、地域に貢献できる活動を増やしていく

② 今後の改善方策

- ・サロンワーク等の授業を通して地域の方をお招きし、美容の技術の施術で喜んでいただけるよう、還元していく
- ・ボランティア活動や課外活動を積極的に進めていく

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

適切に行われている

(11)国際交流(必要に応じて)

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	3
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	4
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3
学内で適切な体制が整備されているか	4

① 課題

留学生の学校見学が増加している傾向にある為、学校生活に不安を抱え無いように十分な配慮が今後さらに必要になってくる

② 今後の改善方策

三幸学園の本部が策定した留学生受け入れのマニュアルに沿った受入を行い個別の学校見学などを行い不安を出来るだけ取り除く

③ 特記事項

④学校関係者評価委員会コメント

特になし

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

教育理念、目標、教育活動においては、一定の評価を頂き、現在の運営状況を再確認することができた。昨年からの課題でもあったインターンシップ制度の運営に関しては、運営状況に安定感が出てきている為経験した内容をアウトプットできる機会を設け今後活かしていきたい。

就学支援に関しては、離職調査から見た、人間関係や労働条件など見直し出来る部分から企業側と学校側の相互から協力し改善に取り組んでいく必要性がある。